

第9
22
12/20

さまざま意見 兄は聞く

オバマ米大統領の妹で、ハワイ在住のマヤ・スイトロさん(40)の講演が19日、那覇市のシミー那覇店であった。来場者からは沖縄の基地問題についての質問が相次ぎ、スイトロさんは「選挙で選ばれた知事や、市民の草根の国際

オバマ大統領の妹 スイトロさん講演

交流など、さまざまな形で声は届けることができる。兄にはさまざまな意見を聞く態度があると思う」と語った。スイトロさんは、大学の非常勤講師や作家として幅広く活動。ハワイ大学東西センタ

那覇 基地問題に関心集中

1の50周年国際会議に参加したことから沖縄の平和教育に関心を持ち、沖縄ハワイ協会の招きで来県した。

クリスマスをおバマ氏と過ごす予定というスイトロさんに対し、「沖縄に基地が集中する現状をどう思うか」「沖縄の実情をどうすればオバマ大統領に知ってもらえるか」など基地問題に関する質問が真っ先に挙がった。

講演では、国籍や民族を超えて、沖縄戦犠牲者の名前が刻まれる糸満市の平和の礎いしづに触れ「全ての人を含めることは平和を考える上で大切なことで、沖縄の人が他に教えることができる」と話した。



兄オバマ大統領や沖縄視察で感じた平和について語るマヤ・スイトロさん＝19日、那覇市銘苅のシミー那覇店

「沖繩の平和への思い強い」

オバマ氏の実妹那覇で講演

オバマ米大統領の実妹で、米国ハワイ州で教師や作家として活躍するマヤ・ソエトロさん(40)が19日、那覇市内で講演した。18日に来沖し、糸満市の平和の礎や県平和祈念資料館などを訪れたというソエトロさんは「ウチナンチュのみなさんの平和への思いがいかに強いかを感じ、心を打たれた」と話し、対話を通して真の国際交流を深めることの大切さを強調した。

講演会は、沖繩ハワイ協会 会の主催。両協会の会員らと東西センター沖繩同窓 約160人が詰めかけた。

講演後の質疑応答では、沖繩に集中する米軍基地に関する質問が集中した。沖繩ハワイ協会の高山朝



オバマ大統領と過ごした幼少期について話すマヤ・ソエトロさん。19日、那覇市・シミー那覇店

光会長は「沖繩がどうだったのか、オバマ大統領に話し、ぜひ沖繩に来て、平和の礎の前で世界へ向けて平和発信の演説をしてほしいと伝えてください」と会場の声を代弁。

クリスマスに兄と会うというソエトロさんは「ベストを尽くします」と答えた。

ソエトロさんは20日、沖繩尚学高校を訪ね、生徒らと交流する。